

H25 エゾシカ捕獲体制構築モデル事業結果概要

北海道釧路総合振興局保健環境部環境生活課

1 事業概要

タンチョウ生息地であること、地形が平坦であること等の理由により銃による捕獲が困難で、積極的な捕獲対策が進んでこなかった湿原周辺において囲いわなによるエゾシカの試験捕獲を実施し、効果的な捕獲手法と課題等の検討を行った。

また、残滓の効率的処理のための減量化処理試験を実施した。

ア 囲いわなの捕獲適地の選定

エゾシカの出没状況、車両のアクセス性、平坦な地形で作業スペースが十分に確保できる点、過去の餌付けによる誘引実績等を考慮して、捕獲地を選定した。選定にあたっては、関係市町村、根釧西部森林管理署、環境省釧路自然環境事務所、北海道環境科学研究センター、狩猟者団体等、各関係機関との協議を行った。

イ 囲いわなによる試験捕獲

ア)により選定した場所において、囲いわなの設置前からおびき寄せのための給餌を開始し、エゾシカの集まり状況を監視した上で、捕獲適期を判断し、試験捕獲を実施した。

ウ 捕獲個体の有効活用

イ)により捕獲したエゾシカは、生きたまま釧路市内の養鹿場に運搬した。

エ 残滓減量化処理試験

食肉処理場で発生したエゾシカ残滓について、好気性微生物による分解作用を利用した減量化処理試験を実施した。

2 受託業者

釧路市阿寒町中阿寒18線38番地1 北泉開発株式会社

3 結果概要

(1)試験捕獲場所:標茶町コッタロ(標茶町有林 釧路湿原国立公園第3種特別地域内)

(2)試験捕獲結果:合計10頭(オス4, メス6)

捕獲日	捕獲個体の性別、体重	捕獲時刻	捕獲人員
2/19	オス(37kg)、オス(40.5kg)、メス(64kg)	18:00	4
2/25	オス(29kg)、メス(35kg)	17:30	4
2/26	メス(55kg)	18:40	4
3/4	オス(41kg)、メス(38.5kg)、メス(40kg)	18:30	4
3/10	メス(38.5kg)	18:00	4

H26.1.9:エサまき開始、赤外線監視カメラ設置

H26.1.14:捕獲終了までの間で最多の20頭の出没を確認(16:30頃)

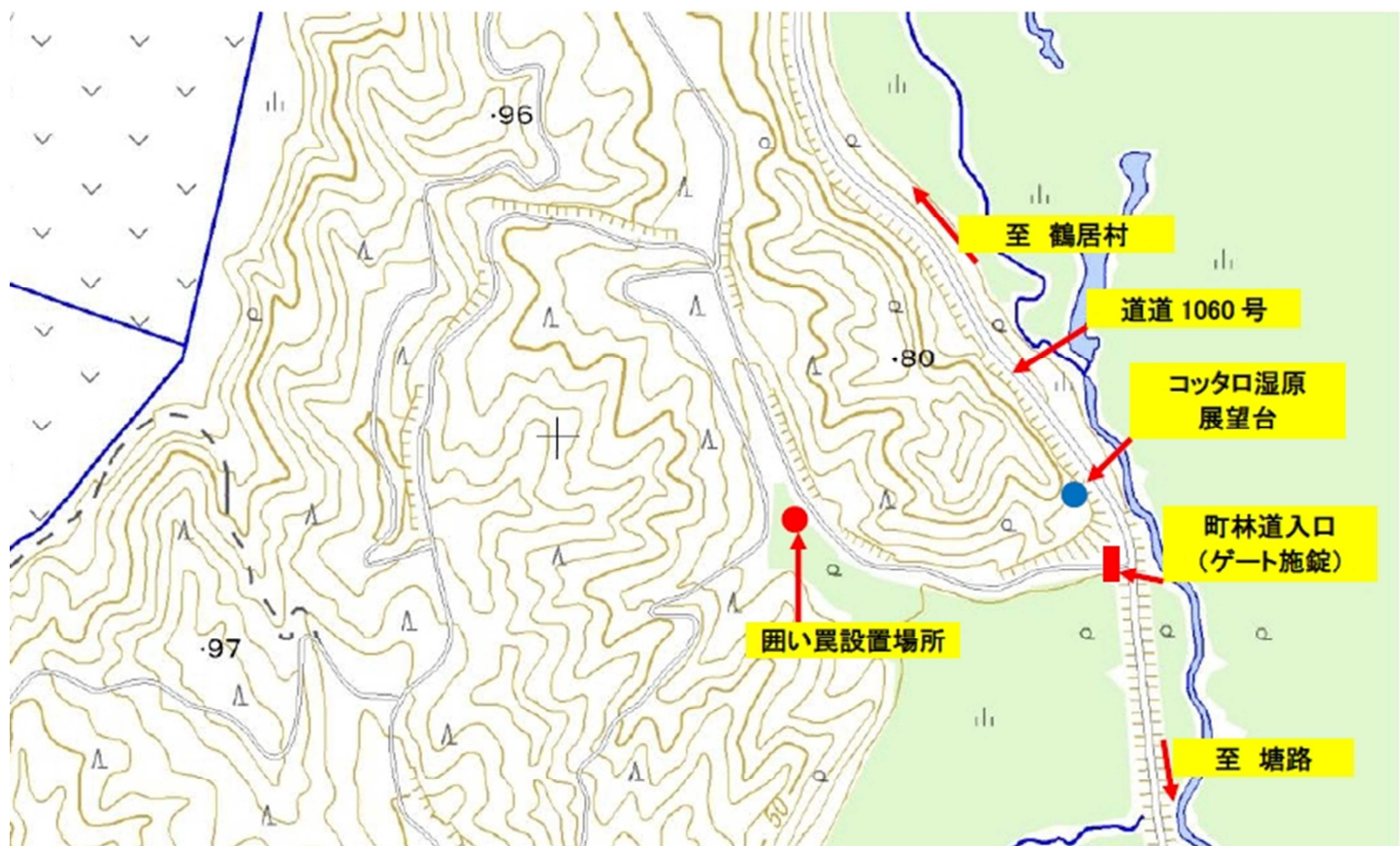
H26.1.23:囲いわな設置完了 捕獲作業開始

H26.3.10:試験捕獲終了

(3)残滓減量化処理試験結果

別紙のとおり

平成25年度 生体捕獲 囲い罠設置場所



残滓減量化処理試験の手順





残滓投入、7日後の発酵床の状況

- ・試験期間: H25.11.23~H26.3.7 (105日間)
- ・残滓搬入回数: 25回(日)
- ・処理箇所: 2カ所
- ・総処理量: 7,425kg(579頭分)
- ・処理物: 内蔵、頭部、皮が中心
- ・発酵温度: 60℃~70℃
- ・エアレーション(ブローアによる空気供給)は常時作動



発酵処理中の床

* 平成25年11月23日 体積計測

9.8m³

* 平成26年 2月24日 床追加

2.0m³

* 平成26年 3月10日 体積計測

11.7m³

* 減量化処理試験開始時 = 9.8m³

* 減量化処理試験終了時 = 11.7m³
1.9m³

* 発酵床容積は、開始時より1.9m³の増加となったが、試験途中に2.0m³の床を追加しており、残滓についてはほぼ完全に処理がなされていたと考えられる。